

病 気

気になる病気の症状。
治療を専門医が
アドバイス

のはなし

循環器内科

心血管ドックで
動脈硬化を早く見つけて
健やかに長く生きよう

人間が健やかに長く生きようと考えたとき、注意を払わなくてはいけない病気がある。それが癌と動脈硬化性の疾患（心筋梗塞や脳卒中など）だ。人が死ぬ原因の半分以上がこれらの病気を占めている。狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患の予防と早期発見の重要性について、札幌心臓血管クリニックCEOの藤田勉ドクターに話してもらった。

突然死の多くが心筋梗塞

そのときになって慌てても、あまり意味はない。沈黙の殺し屋は、手際良くその任務を果たす――。

胸や背中の痛み、圧迫感、かつて味わったことのないような上半身の強い不快感。そうした心筋梗塞の兆候を感じても119番通報する人は平日でたったの12%、夜間・休日でも28%であることが厚生労働省研究班の全国調査で分かった。

「突然死の原因の多くが急性心筋梗塞です。そして、死亡例の80%以上

が発症から1時間以内に死亡するともいわれています。発症から1時間以内に専門医の治療を受けられるか否かが救命の鍵となるのです」（藤田ドクター）

家族に心臓を患った人がいる場合や、高血圧、糖尿病などのリスクがある人は特に心筋梗塞のサインを感じた場合、すぐに救急車を呼ぶ必要がある。しかし、現状では兆候を感じても119番通報をするのはわずかに1割。より一層の啓発が必要かもしれない。

でも、よく考えてみてほしい。い

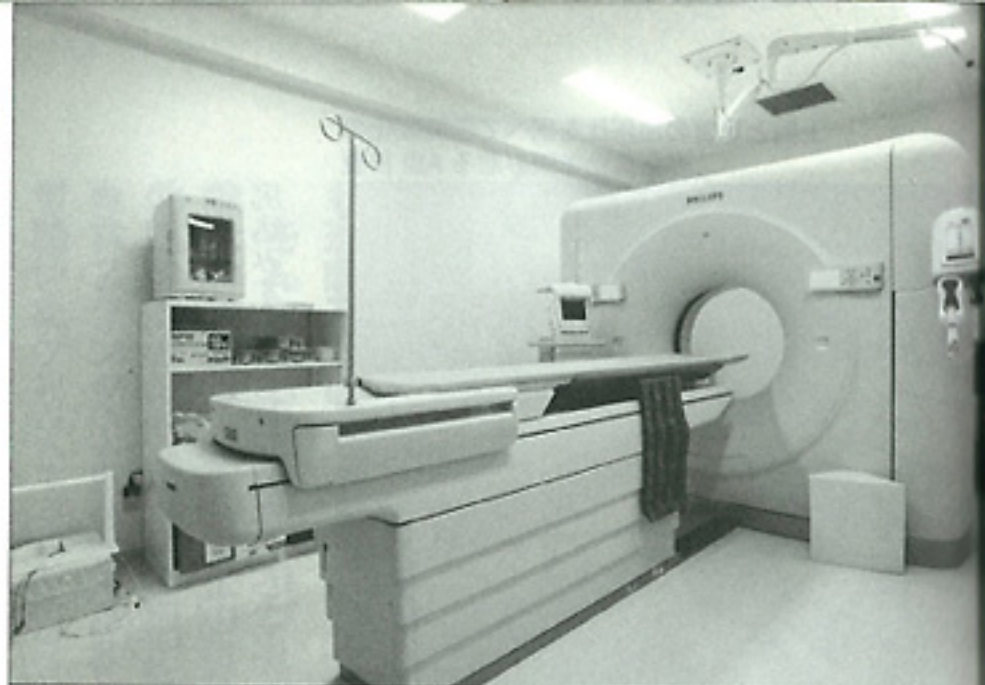


札幌心臓血管クリニック
CEO 藤田 勉

ざ不具合を感じて119番通報をしたところで、1時間以内に治療が開始されるだろうか。また、搬送先に都合良く、経験豊富な専門医がいるのだろうか。日本の救急医療は危機的な状況なのだ。



札幌心臓血管クリニック（札幌市北区）



短時間の検査でリアルな画像が得られる 64列マルチスライスCT

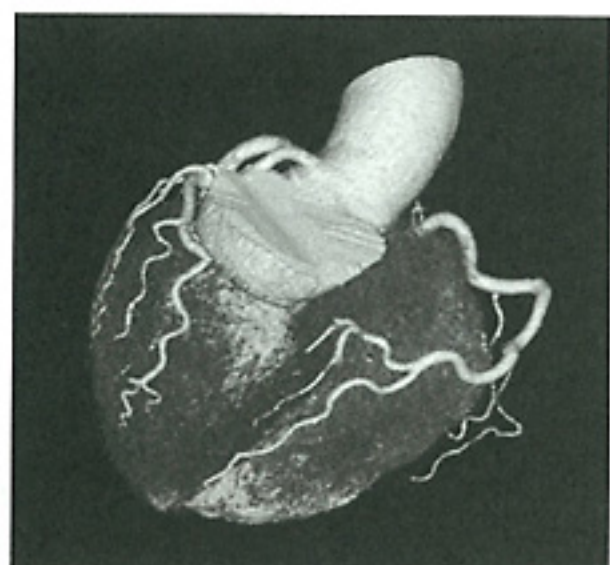
少し考えてみればすぐ分かることだが、心筋梗塞のサインをよく知って、いざという時に備えることは、あまり意味がない。まったく意味がないわけではないが、実は本質的な解決ではないのだ。

「たしかにサインを良く知って、早く119番通報することも大事です。でも、本当の意味で突然死を防ぐには予防と早期発見しかない。多くの人にそう思ってもらうことのほうが大事だと思います。そのときに注意

してほしいのは、予防と早期発見と一緒に考えてもらっては困るということです。予防は予防として、日頃からリスクが高まらないように生活してもらって、リスクが高い人はとにかく早くに発見して突然死を防ぐことが大切です」(藤田ドクター)

心臓の病気が自覚したときにはすでに重症になっている怖いもの。それゆえにサイレントキラーなどという大仰な呼び名さえ付いている。

そんな病気だからこそ検査機械と検査結果を正確に読めるスタッフにはこだわりたい——。そうした思いで札幌市東区で循環器治療を続ける藤田勉ドクターは、予防と早期発見こそが突然死の根本的な解決だと強



調する。

藤田ドクターは道内で最も多く心臓カテーテル治療を経験している医師である。最も虚血性心疾患の治療を行なったドクターが、治療はさておいて予防と早期発見こそが重要なのだと強調している。その言葉の重さは推して知るべしだ。

心筋梗塞を早期に発見するにはどうすればいいのか。以前からもさまざまな検査が行なわれてきた。心電図、心エコー、トレッドミル検査、RI検査。心臓を調べるそうした検査を複数組み合わせることである程度は予知できるまでにはなった。しかし、あくまである程度でしかなく、病気があるのか、ないのか——。



それを確定する検査には心臓カテーテル検査があり、全国津々浦々の循環器内科で受けられる。

だが、心カテは病気があるのかどうか不安だという軽い気持ちで受けられるものではない。千人に一人の確率といわれるが、カテーテルが血管を傷つけたり、止血がうまくいかなかったりして危険な状態になるリスクを持っているからだ。

「その課題を克服したのが、64列マルチスライスCTです。経験豊かな医師、スタッフが診断すれば心カテと同様の検査結果が得られます。造影剤を使うので、まったく負担がないというわけではありませんが、その量は心カテの半分。なんといい



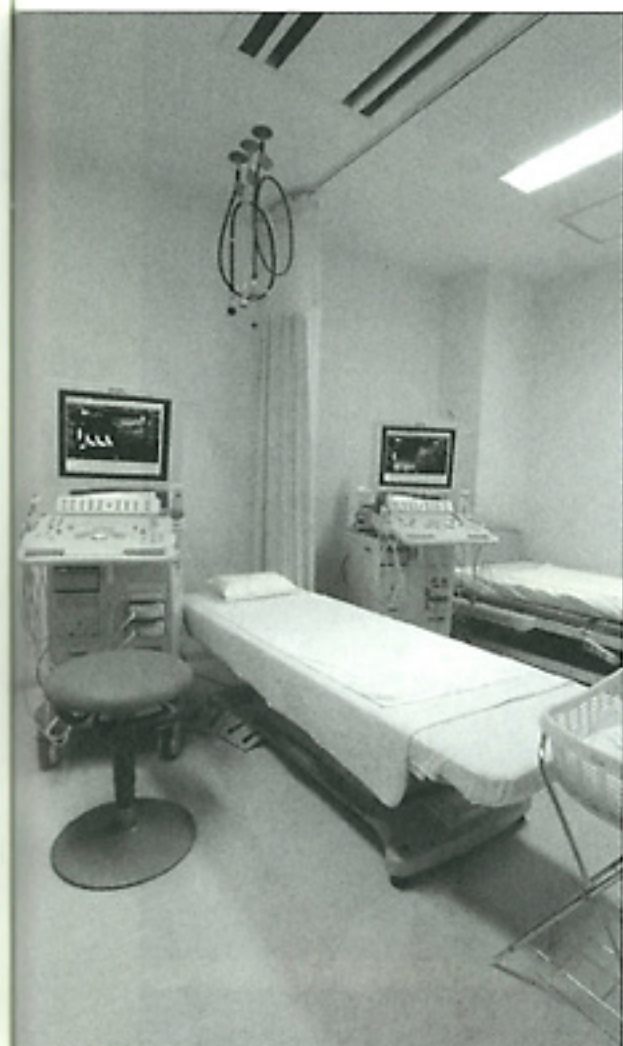
上腕と足首の血圧比を調べて動脈硬化の
進行具合を読み取る ABI 検査



病気が気になっていて、検査を受けることが大事なことは分かっている。しかし、検査は当たり前のことだが自由診療である。言い方を換えると保険がきかない。そして、その金額を見て尻込みする人は多いものだ。ましてこの不況である。全身の動脈硬化をチェックするドックは首都圏であれば10万円程度が相場で、尻込みするのも無理はないだろう。

心臓血管ドックで早期発見

も動脈にカテーテルを入れる必要がないというのは大きなメリットです。負担が少なく、しかも確定的な診断が行なえる64列CTは心筋梗塞を早期発見する検査として大きな期待が寄せられています(藤田ドクター)



札幌心臓血管クリニックではエコー検査装置が2台。数多くの検査に対応する

だが、突然死を無くすためには、予防と早期発見しかない。——。そんな思いが人一倍強い藤田ドクターが開設した札幌心臓血管クリニックでは、最先端の確定的な検査、しかもそれを破格の料金で提供している。料金は1万5000円(税込)だ。

札幌心臓血管クリニックの「心臓血管ドック」の検査内容は次の通りだ。

- ・身体測定
- ・血圧測定、血液検査
- ・心電図検査
- ・64列マルチスライスCT造影検査
- ・ABI検査
- ・頸動脈、腎動脈エコー検査
- ・眼底検査
- ・問診、診察

全身の動脈硬化をチェックする頼もしい内容の検査である。繰り返す

が検査料は1万5000円(税込)だ。「検査を希望する方には、必ずかかりつけの先生に相談してくださいとお願ひしています。もし、検査で異常が見つかったとしても薬の処方管理ができるなら、主治医の先生に我々が報告してその後の管理をお願いしています。我々は循環器の専門性を活かして地域の開業医の先生たちとコラボレートしながら、地域の皆さんに長生きしてもらいたいと思っっているんです(藤田ドクター)

心筋梗塞のリスクは、家族に心臓を患った人がいる場合や、高血圧、糖尿病などのリスクがある人。不安を感じる人は、早めに確定的な検査を受けて不安を安心に変えてほしい。それが周囲にいる人に突然の悲しみを与えないことになるのだから。



札幌心臓血管クリニック

CEO 藤田 勉 院長 渡山 博昭

- 診療科目 循環器内科 内科 心臓内科
- 診療時間 月火木金 9時から17時 (12時から13時30分まで昼休み) ・水・土曜日は9時から12時
・不整脈外来 第4土曜日 9時から12時
- 受付時間 午前8時30分から11時30分 午後1時から4時30分 ● 休診日 日曜・祝日 ● 心臓血管病棟は24時間受付いたします。

〒007-0849 札幌市東区北49条東16丁目8-1 TEL011-784-7847

<http://www.scvc.jp>